

評価シート（年度評価）

白鳥庭園の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者名	しろとりの杜グループ		
主な業務内容	白鳥庭園の管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市熱田区熱田西町2番5号		
評価対象期間	令和2年4月～令和3年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
管理体制及び協働	1 管理体制	職員配置	○	外部アドバイザーの技術指導や、他都市の庭園の見学、庭園講習会を実施した。 地域団体や学校、企業等と積極的に交流し、情報交換や協力関係づくりに努め、良好な関係を築けている。 入園券広告や巡回バス、消毒の提供など、企業協力を得ることができた。
		緊急時の体制		
		人材育成等		
	2 協働	市民等との協働		
維持・管理運営等	1 維持管理	園内清掃	◎	各種竹垣補修、苔張りにより庭園らしい景観が維持されている。 くすのき橋手すりの補強、清羽亭渡り廊下の補修、汚水管清掃などこまめな予防保全的修繕を行った。 木の剪定において継続的に担当者制を設け、丁寧な管理を行った。 自動芝刈機を導入し、頻度の高い管理に努めた。 エリアごとの景観管理や、外部アドバイザーによる指導により良好な景観を維持した。
		建物・設備の管理		
		保守・点検・修繕		
		植物管理		
		管理水準の維持		
		関係書類の調製・保管		
	2 運営管理	利用者アンケートの実施	◎	他施設との合同クイズラリーやガイドツアー時にアンケートを実施し、積極的に利用者ニーズの把握等に努めた。結果を見やすく作成して、掲示されている。 要望の多い樹名板を季節毎に設置し、HPの植物情報に繋がるQRコードを掲載することで、より丁寧な情報提供ができるようにした。 紅葉シーズンの混雑状況緩和のため、駐車案内（周辺道路への看板、チラシへの推奨ルート掲載等）を実施し効果があつた。 サポートが必要な来園者とのコミュニケーションを円滑に進めるためにタブレットを導入した。
		利用者ニーズの把握と反映		
		利用者サービス向上策		
		接客・接客向上の取組み		
		苦情・要望に対する適切な処理		
		個人情報の適切な管理		
	3 この施設特有の管理	庭園・茶室の管理	◎	園路のほうき目や露地庭の敷き松葉など、ふさわしい美観の形成に努めている。 伝統文化講習会や白鳥寄席など文化的催事に意識して取り組んだ。 地元と連携したまちづくりイベントやオンラインを活用したイベントなどを積極的に行っている。
		めざす公園像への取組み		
	4 魅力増進・利用促進	魅力の増進策		
		イベント等の実施		
		利用者への広報・情報提供の実施		
		利用者数の増加		
	5 収納金の処理業務	現金等の取扱い	◎	還付事務が増大したが、適切に現金の管理、書類の作成等が行われた。
		関係書類の調製・保管		
自主事業	1 自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	○	第3水曜日の臨時開園、謎解きや俳句募集など、利用者サービス向上と幅広い客層の確保に努めた。 コロナ禍で厳しい状況においても、予定通りの収益還元を実施した。
		集客対策への効果		
		自主事業の収支及び還元		
		便益施設の管理運営		
収支	1 収支	経費節減策	○	
		年間収支		
その他	1 その他	法令・協定の遵守	○	
		事業計画との比較分析		

【総合評価】

白鳥庭園の特徴である多様な空間(景)を13エリアとして設定し、特徴的な風景を形作る植物管理を進めてきた点や、マツの担当者制は、維持管理の精度アップと担当者の意欲向上の両方の観点で評価できる。

コロナ禍においても、地域と連携したイベントやオンラインを活用したイベントを可能な限り開催し、SNSを活用した発信、インスタ映え写真スポットの設置など、魅力増進・利用促進の積極的な取り組みが見られた。

今後も、きめ細やかな維持管理により庭園としての魅力を高め、市内で誰でも訪れることができる二大日本庭園として、徳川園との連携企画を更に推進し、来訪者の拡大を図られたい。

施設の現状

白鳥庭園

施設の現状

施設概要							
白鳥庭園は、文化の香り高いまちづくりの一環として昭和58年から整備が進められ、敷地面積約3.7haと市内随一の規模を誇る日本庭園として平成3年4月14日に全面開園しました。 当園は、池泉廻遊式庭園で、名古屋を中心に中部地方の地形をモチーフにしており、庭園の西南端にある小高い築山を「御嶽山」、そこから流れる川を「木曽川」、川の水が注ぎ込む池を「伊勢湾」に見立て、“水のストーリー”をつくり出しています。 園内には、本格的な数寄屋建築の庭園本館「清羽亭」があり、茶会などに利用されています。また、核となる施設として、水景施設が作りだす汐の満ち干きにより刻々と変化する水景を楽しむ「汐入の庭」があり、この庭を眺め、抹茶、コーヒーなどを飲みながら休憩できる喫茶・休憩所「汐入亭」があります。							
市の収支状況(千円)（2年度決算(見込)額）							
支出			収入				利用料金
指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
99,321	－	99,321	26,420	1,733	71,168	99,321	—
特記事項							

管理運営指標の状況

取組状況						
指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者1人あたりの運営費		円	636	659	615	1,045
入園者数		人	152,907	147,927	161,450	95,012
特記事項						

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載